

2020年 3月16日

東芝テック株式会社

〒141-8562 東京都品川区大崎 1-11-1

経営企画部 広報室 TEL : 03-6830-9151

URL : <https://www.toshibatec.co.jp/>

業務用タブレット「TBL-300 シリーズ」の発売について

～堅牢性に優れたスタイリッシュなタブレット～



業務用タブレット「TBL-300」(RelaxOrder 搭載時)

東芝テック株式会社は、業務用タブレット「TBL-300 シリーズ」を2020年6月に、発売いたします。

TBL-300 シリーズは、ご好評いただいている当社飲食店向けセルフオーダーシステム「RelaxOrder」用タブレット「TBL-200 シリーズ」の後継機種となります。業務用タブレットとして不可欠である、堅牢性を継承しつつデザイン性、機能性を向上させました。

本商品は、飲食店向けセルフオーダーシステム RelaxOrder の他に、量販店向けカート型セルフレジ「ピットカート」にもご利用いただけます。その他、量販店の混雑時の前捌き端末、飲食店の受付用端末、バックオフィス用端末など、様々な用途にご利用いただくことができます。

飲食店向けセルフオーダーシステム RelaxOrder で TBL-200 をご使用中のお客様は、システムのソフトウェアをバージョンアップすることにより、TBL-200 と TBL-300 を店舗内で混在させてご使用いただ

けます。

(背景)

流通小売業や飲食業では人手不足が大きな課題となっており、解決策として、飲食業におけるセルフオーダーシステムやスーパーマーケットでのカート型セルフレジなどへの注目が高まっています。

セルフオーダーやカート型セルフレジで使用するタブレットは、使用環境・頻度・期間により堅牢性、長期供給が不可欠な要素となります。

このような背景により、堅牢性に優れ、様々な用途に対応でき、長期供給が可能な業務用タブレットを開発しました。

(消費者のメリット)

本商品を活用した飲食店向けセルフオーダーでは、お客様が希望されるタイミングで簡単にオーダーできるというメリットが、またスーパーマーケットでのカート型セルフレジでは、レジカウンターに並ぶことなくお会計がスピーディに完了できるメリットがあります。

カメラ・マイクを搭載したことにより、画像認識によるレコメンドや音声認識オーダーなどお客様のサービス向上につながる拡張性が高まりました。

<「TBL-300 シリーズ」の特長>

① 高い堅牢性

- ・1.2mの高さからの落下テストをクリア。（* 当社試験条件による）
- ・防塵、防滴規格は、IP54 に対応。

② スタイリッシュなデザイン

- ・持ちやすさを追求した、薄くて軽いボディを実現しました。（質量当社従来機比：85%）
- ・テーブル設置用のクレードルは、コンパクトで限られたスペースにも設置ができます。

③ 機能性の向上

- ・バッテリーは、満充電で約 8 時間動作可能です。オプションの大容量バッテリーを搭載すれば、約 12 時間の動作が可能。電源工事ができない場所での長時間使用が可能となります。
- ・バッテリーは、パック方式ですので予備用バッテリーを準備し、交換することにより、更なる長時間運用が可能です。
- ・マイクとスピーカーを搭載したことにより、音声認識オーダーなどに活用できます。
- ・カメラ搭載（前面及び背面）により、値割引券・クーポン券の読み取りや、テーブルの状況を撮影し、空いた皿やグラスを検知し、レコメンドなどに活用できます。

④ 長期供給・サポート

・短期間でモデルチェンジすることがありませんので長期安定供給、およびサポートが可能により安心してご導入いただけます。

<「TBL-300 シリーズ」の発売概要>

- ◇商 品 名 : 業務用タブレット「TBL-300 シリーズ」
- ◇発 売 日 : 2020 年 6 月
- ◇価 格 : 本体価格 270,000 円～（税抜き）
- ◇発 売 地 域 : 全国
- ◇販 売 予 定 数 : 約 100,000 台／5 年間
- ◇販 売 ター ゲ ッ ト : 国内 飲食店／量販店

<「TBL-300 シリーズ」の主な仕様>

項目	仕様
サイズ	W280×H190×D17.8 (mm) (突起部除く)
質量	約 795 (g)
画面サイズ	10.5 型
満充電での 駆動時間	8 時間 (12 時間：オプション大容量バッテリー装着時) * 当社 試験条件による
バッテリー交換	可能
防塵・防滴性能	IP54
オプション	予備用バッテリー、 大容量バッテリー、 クレードル、 集合充電器、 カードリーダー

<「TBL-300 シリーズ」の環境配慮事項>

- 1) 資源の有効利用
本体の機構を再構築して、部品の小型・軽量化の取り組みにより、前機種（TBL-200）と比較して本体の質量は、約 15%削減しました。また、リサイクルを容易にするために、25g 以上のプラスチックに材料表示を行っています。
- 2) 化学物質管理の徹底
廃棄後の環境負荷を減らすために、筐体プラスチックにハロゲンフリー材を使用することにより、臭素を削減しました。

東芝テックは、製品のライフサイクル（部品、部材調達→製造プロセス→流通→お客様のご使用→使用済製品のリサイクル）について開発・設計段階より環境設計アセスメントを実施しています。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

東芝テック株式会社 経営企画部 広報室

TEL 03 (6830) 9151

本件に関するお客様のお問い合わせ先

東芝テック株式会社 リテール・ソリューション事業本部

商品・マーケティング統括部 飲食店・IS ソリューション商品部

TEL 03 (6830) 9291